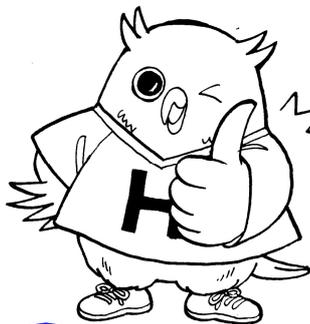


L'aile d'Howl



年度末だけどハンドボールのイベント盛りだくさん！いよいよ全国高校選抜大会も近づいてきたね

【ライル・ドウル:ホウルの翼(仏語)】

2012年3月号



1

今年も湯沢市で熱戦！東北小学生大会！！

2月25日～26日、秋田県の湯沢市総合体育館にて、第6回東北ブロック小学生ハンドボール交流大会兼第21回大沼杯小学生ハンドボール大会が開催され、岩手県からは花巻クラブジュニア、リトルハンド、矢巾フェニックスの3チームが出場しました。例年は山形県東根市で開催されているこの大会ですが、昨年の震災の影響等もあり、今回は初めて湯沢市で行うことになりました。昨年10月に同会場で開催された湯沢JCカップから4ヶ月、東北の小学生ハンドボールはどのように成長したのか、楽しみな気持ちで大会に臨みました。さて、まずは男子予選リーグですが、花巻クラブジュニアは羽後町ハンドスポ少(秋田県)との一戦、試合終了直前に1点差で負けている場面で、7Mスローをゲット。これを決めれば同点というチャンスでしたが、このシュートが入らず、惜しくも1点差で負けてしまいました。続く富谷JHC(宮城県)との試合にも敗れ、残念ながら決勝トーナメント進出はなりません。子どもたちには、この1点の重みを忘れずに、次の大会に向けて頑張ってもらいたいと思います。なお、男子決勝は十和田ジュニア(青森県)と尾花沢ハンドスポ少(山形県)の対戦となりました。チーム全員がまるで中学生のような体格を誇り、豪快なシュートを連発する十和田に対し、尾花沢は小柄ながらもスピードあるゲーム展開で応戦。見応えのある試合に会場も大いに盛り上がりました。東北の小学生のレベルも上がってきたな、と感じさせる素晴らしい試合は、24-22で十和田ジュニアに軍配が上がり、嬉しい初優勝を飾りました。十和田ジュニアは、3月に花巻市で開催される箱崎カップ岩手県小学生ハンドボール大会に招待参加する予定ですので、試合できることが非常に楽しみです。



さて女子の部ですが、花巻クラブジュニアは、羽後町ハンドスポ少との緒戦を21-6で勝利し、翌日迎えた準決勝でも東根ハンドスポ少(山形県)を17-11で下し、湯沢JCカップに続いて決勝進出を果たします。その湯沢JCカップと同じ顔合わせとなった決勝戦、尾花沢ハンドスポ少(山形県)になんとかリベンジしたい気持ちで試合に臨みましたが、シュートが中央エリアからだけになってしまい、得点チャンスの幅を広げることができません。4点差で前半を折り返し、追い上げを図りますが、点差を詰めることができずゲームセット。やはりハンドボールはチームスポーツであり、一人、二人のポイントゲッターだけに頼ってはいけません、ということを改めて実感した試合でした。女子・花巻クラブジュニアは、10月の大会に続き準優勝という結果になり、また、女子・リトル

ハンドも3位決定戦を1点差で制し、見事3位の成績を収めました。

なお、準優勝の原動力となったエースの高橋陽実選手(中央・桜台小6年)、ポストの中村宥希選手(左・若葉小6年)、GKの杉森唯奈選手(右・花巻小6年)が大会優秀選手に輝きました。これを自信にして、中学校でもハンドを頑張ってもらいたいです。

最後に、今年度多くの大会を引き受けて下さった秋田県ハンドボール協会の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました！



新しい総合体育館アネックスに日本リーグが来た～！



上記と時を同じくして、花巻市総合体育館アネックスでは、第36回日本リーグいわて花巻大会が開催され、現在日本リーグ首位を走る大崎電気と、ブルーファルコンの愛称で親しまれる豊田合成が、昨年度に引き続き岩手県での対戦を迎えました。悪天候により高速道路が閉鎖され、来場できなかった県外のお客さんも多数おり、また、上記の東北小学生大会と重なってしまったために、例年よりも観客数は少なかったようですが、それでも約850人のハンドボールファンが集まり、会場を大いに盛り上げました。さて、ここ岩手県を第二のホームとする大崎電気は開始10分6-4とリードすると、GK浦和選手が好セーブを連発し、豊田合成を突き離しにかかります。一方豊田合成も、岩手県出身の藤田東吾選手(盛岡南高→中央大)がゴールマウスを守り、早いリスタートから得点を返し、19-13で前半を折り返します。迎えた

後半、大崎電気はリスタートから速い攻撃を展開し、連続得点でリードを広げます。この試合、絶好調のGK浦和選手が好セーブから速攻パスを連発し、大崎電気はコートプレーヤー全員得点を達成しました。終わってみれば41-21で大崎電気が快勝し、プレーオフに向けて首位をキープしました。

また、今回も大会を盛り上げる様々な工夫が展開されました。まず、2月から行われている花巻市体育協会主催の小学生ハンドボール教室に参加している子どもたちを、選手入場時のエスコートキッズとして募集。

ハーフタイムには、岩泉町立二升石小学校の一輪車グループが華麗なハーフタイムショーで魅せ、大会に花を添えてくれました。また、試合終了後には新たな工夫として、紙飛行機によるプレゼント抽選会が行われました。これは、大崎電気の<赤>と豊田合成の<青>を使った紙で紙飛行機を作り、コートに向けて飛ばした紙飛行機をキャッチした選手たちから、チームグッズのプレゼントをもらえるというもの。合図で一斉に会場を紙飛行機が飛び回り、その後名前を呼ばれたファンは大喜びでプレゼントを受け取りにいました。来シーズンは11月に同じく花巻市総合体育館で、大崎電気と北陸電力の対戦カードが予定されているそうです！今回試合を観られなかった小学生がたくさんいますので、今からとても楽しみです！



小学生ハンドボール教室は今年も大盛況でした

2月7日～3月6日まで全5回シリーズで行われた花巻市小学生ハンドボール教室は、多くの参加者を集め、成功裏に終了しました。そして今回は、ハンドボール教室の総仕上げとして、3月10日(土)にミニハンドボール大会を開催しました。高学年は男女5チーム、低学年は4チームによる総当たりリーグ戦形式にて行われました。ちなみに、高学年の試合は、「チーム全員が得点したらボーナス5点」という特別ルールを設けました。中には、この大会のためだけに参加したハンドボール未経験者もいて、教室参加者や少年団のメンバーは、このようなチームメイトにシュートを打たせようと必死でした。



柔らかいスポンジボールと、普段よりも小さいコートになかなか慣れない感じもありましたが、非常に和やかにゲームが進みました。

このミニハンド大会は、今後も小学生ハンドボール教室の締めくりとして、教室終了後に定期的開催していく予定です。

このようなイベントを通して、小学生たちがハンドボールに触れる機会がもっと増えることを期待しています。



L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2012年3月号
2012年3月25日 発行

発行：花巻市ハンドボール協会
Special thanks to 藤村浩行様